

# JVC

ポータブルデジタルレコーダー

## XA-LM30

- 1 電源を入れる
- 2 時計を合わせる
- 3 録音の前に
- 4 録音する
- 5 聞いてみる
- 6 消す
- 7 電源を切る

# レッスンマスター かんたんガイド

- 8 楽器をチューニングする
- 9 メトロノームとして使う
- 重ね録音をする
- くり返し練習する(聴き比べレッスン)

 このマークの中の数字は、取扱説明書の説明ページです。

・レッスンマスターの設定や詳しい説明については、別冊の取扱説明書/保証書をお読みください。

本書をお読みにする前に、別冊の「取扱説明書/保証書」の「安全に正しくお使いいただくために」と「はじめに」をお読みください。

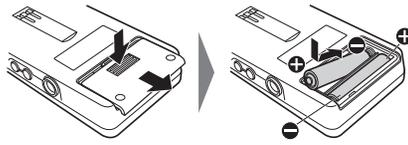
© 2014 JVC KENWOOD Corporation

LVT2160-002A

## 1 電源を入れる

レッスンマスターの電源を入れましょう。

- 1 付属の単4形アルカリ乾電池を入れる
- 2 電源/ホールドスイッチを「電源」側に2~3秒押し上げる



初めて電源を入れたときは、「時刻を設定してください」と表示されます。つづけて時計を設定してください。

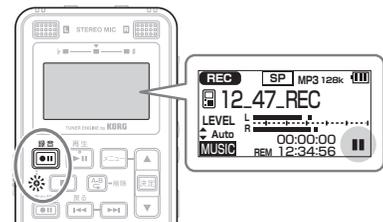
♪次に時計を合わせましょう

14, 24

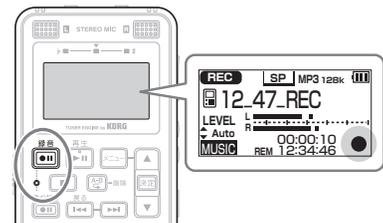
## 4 録音する

いよいよ録音しましょう。

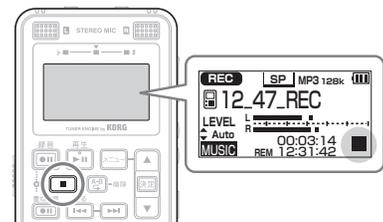
- 1 録音●II ボタンを押す  
録音待機の状態になります。



- 2 もう一度、録音●II ボタンを押す  
録音が始まります。  
録音する演奏を始めてください。



- 3 ■ ボタンを押して録音を終了する

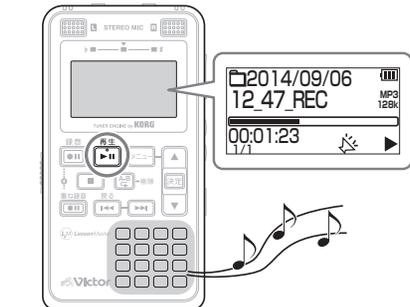


♪うまく録音できたでしょうか?  
→「聞いてみる」に進む

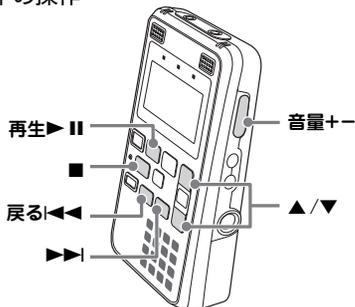
## 5 聞いてみる

録音した演奏を聞いてみましょう。

- 再生▶II ボタンを押す  
録音したばかりの曲が再生されます(ワンタッチ再生)。



再生中の操作



操作	押すボタン
音量調節	音量+-ボタン、▲/▼ボタン
一時停止	再生▶II ボタン もう一度押すと、再生します。
次の曲の頭出し	▶▶ボタン
再生中の曲の頭出し	戻る◀◀ボタン
前の曲の頭出し	戻る◀◀ボタンをつづけて2回押す
早送り	▶▶ボタンを押してつづける
早戻し	戻る◀◀ボタンを押してつづける
停止する	■ボタン

♪うまく録音できていましたか?  
→「消す」に進む

55

## 2 時計を合わせる

25

レッスンマスターで録音したファイルは、録音開始時刻がファイル名としてつけられ、録音日ごとのフォルダに保存されますので、日付と時刻は正しく設定してください。

- 1 決定ボタンを押す



- 2 時計を合わせる

- ・日時を合わせる: ▲/▼ ボタンを押す
- ・カーソルを移動する: 戻る◀◀/▶▶ ボタンを押す



- 3 分にカーソルを合わせて決定ボタンを押す

設定が終わり、「音声タイトルを録音しますか?」と表示されます。「いいえ」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押してください。

♪これでレッスンマスターの準備ができました

## 6 消す

105

いらなくなった曲(ファイル)を消してみましょう。

- 1 削除したい曲を再生する
- 2 A-B◀/削除ボタンを押してつづける  
確認のメッセージが表示されます。  
削除すると、もとに戻せません。よく確認してから手順3に進んでください。
- 3 ▲ ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す  
曲が削除されます。



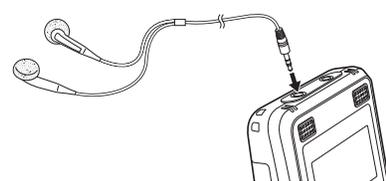
♪ひとつおりの操作できましたか?

### 📖 使いかたのヒント

・電源/ホールドスイッチを図の位置にすると、ボタン操作を無効にします。録音中のボタンの誤操作を防ぐことができ便利です。



・録音するときに市販のヘッドホンをつなぐと、音声を聞きながら録音できます。



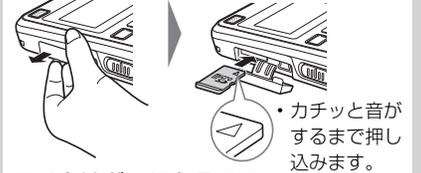
## 3 録音の前に

20, 30, 32

録音する前に、以下のことを覚えておいてください。

どこに録音されるの?

レッスンマスターは、楽曲をmicroSDカードに録音します。録音する前に、市販のmicroSDカードをレッスンマスターに挿入しておいてください。



マイクはどこにあるの?

レッスンマスターの内蔵マイクは、正面の上側にあります。左右のマイクで、どの方向からの音も拾えます。

左(L)マイク 右(R)マイク

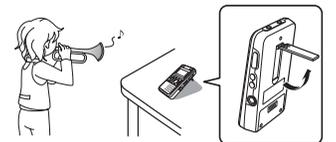


・ライン/マイク入力端子またはコンタクトマイク/ギター入力端子に機器をつないで録音することもできます。

本書では、内蔵マイクを使った録音操作を説明します。

どうやって置くの?

マイクを演奏者に向けて、スタンドを立てて置きます。



♪では、録音してみましょう

24

## 7 電源を切る

使い終わったら、電源を切りましょう。

- 電源/ホールドスイッチを「電源」側に2~3秒押し上げる

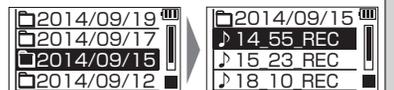


♪レッスンマスターの基本的な使いかたは覚えられましたか?

♪うら面の、便利な機能も使ってみましょう

・メニューの「録音リスト」を選ぶと、録音日ごとに名前を付けられたフォルダが一覧表示され、再生したい曲を探すことができます。

- 1 メニューボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンを押して「録音リスト」を選び、決定ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンを押してフォルダ(□)を選び、決定ボタンを押す



- 4 ▲/▼ ボタンを押してファイル(♪)を選び、決定ボタンを押す  
選んだファイルから、リストに表示されている順に再生されます。フォルダの最後のファイルの再生が終わると、再生は停止します。

## 8 楽器をチューニングする

58

レッスンマスターは、楽器のチューナーとして使うことができます。ここでは、クロマチックチューナーを使ってみましょう。

### 1 メニューボタンを押す

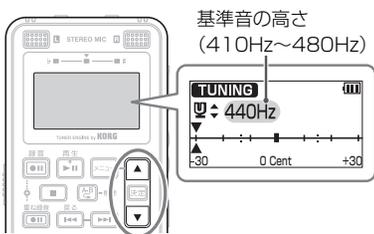
メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ボタンを押して「チューナー」を選び、決定ボタンを押す



### 3 「チューニング」が選ばれているのを確認して、決定ボタンを押す

### 4 ▲/▼ボタンを押して基準音の高さを選ぶ



### 5 マイク(L側)に向けて、楽器を単音で鳴らす

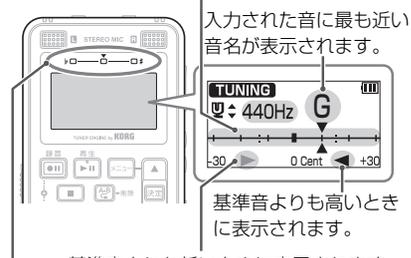


### 6 チューニングする

画面とランプで、音のずれをお知らせします。

例) ギターの3弦(G)を鳴らしたとき

音のずれを目盛りで表示します。



基準音よりも低いときに表示されます。ランプの見かた(●:点灯(赤) ●:点灯(緑) ○:消灯)

音のずれ	ランプ	b	▼	#
低い	●	●	○	○
やや低い	●	●	●	○
なし(ぴったり)	○	○	●	○
やや高い	○	○	●	●
高い	○	○	●	●

・チューニングが終わったら、メニューボタンを押してメニューに戻ります。

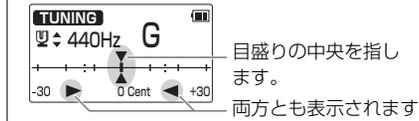
### 🔑 使いかたのヒント

・エレキギターなどは、コンタクトマイク/ギター入力端子につないでチューニングすることもできます。



・ぴったりチューニングできると、ランプと表示は図のようになります。

▼ランプが緑色に点灯し、他は消灯します。



目盛りの中央を指します。両方とも表示されます。

## 9 メトロノームとして使う

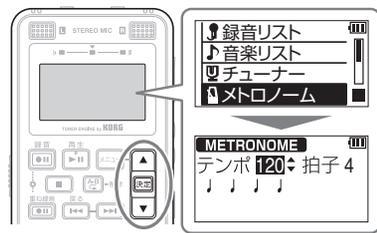
67

レッスンマスターは、メトロノームとして使うこともできます。

### 1 メニューボタンを押す

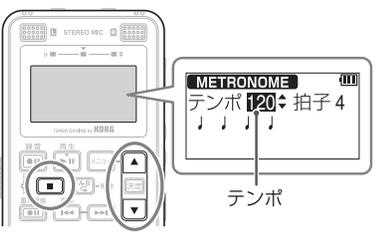
メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ボタンを押して「メトロノーム」を選び、決定ボタンを押す



### 3 ▲/▼ボタンを押してテンポを選ぶ

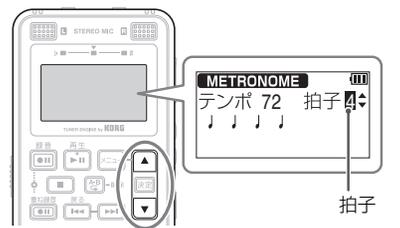
・J=30(LARGHISSIMO)~250(PRESTISSIMO)まで調節できます。



### 4 ▶▶ボタンを押して「拍子」にカーソルを移動する

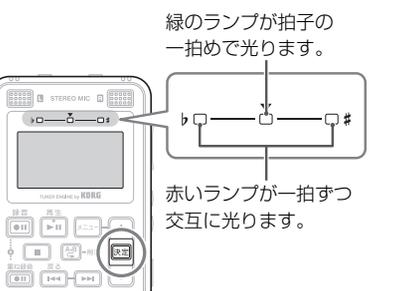
### 5 ▲/▼ボタンを押して拍子を選ぶ

・0拍子~7拍子まで選べます。



### 6 決定ボタンを押す

レッスンマスターからリズム音が聞こえ、リズムに合わせてランプが光ります。



メトロノームを止めるには

決定ボタンまたは■ボタンを押します。  
・決定ボタンまたは再生▶▶ボタンを押すと、メトロノームを再開します。

### 🔑 使いかたのヒント

- ・テンポと拍子は、リズム音を聞きながら▲/▼ボタンで変えられます。
- ・音量+ボタンで、リズム音の音量を変えられます。
- ・メニューを表示させて、「機能/設定」の「システム設定」から「メトロノーム音」を選ぶと、メトロノームのリズム音を変えられます。

## 重ね録音をする

44

レッスンマスターに保存されているWAV形式のファイルに、録音を重ねてみましょう。たとえば先生の伴奏を録音しておいて、それを鳴らしながら自分の演奏を伴奏といっしょに録音できます。  
・重ね録音をすると、元のファイルとは別に、新しいWAV形式のファイルが作成されます。元のファイル名の末尾に「\_T××」をつけた名前で、元のファイルと同じフォルダに保存されます。

### 1 メニューボタンを押す

メニューが表示されます。

### 2 ▲/▼ボタンを押して「録音リスト」または「音楽リスト」を選び、決定ボタンを押す

### 3 ▲/▼ボタンを押してフォルダまたはリストを選び、決定ボタンを押す

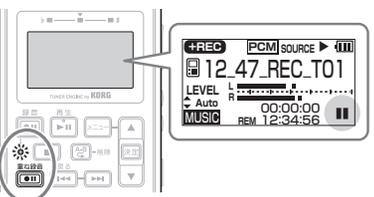
・再生したいファイルが表示されるまで、同じ操作をくり返します。

### 4 ▲/▼ボタンを押して録音を重ねたい曲を選び、決定ボタンを押す

選んだ曲が再生されます。

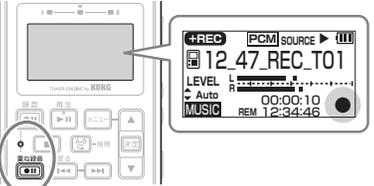
### 5 重ね録音●IIボタンを押す

重ね録音の待機状態になります。手順4で選んだ曲がくり返し再生されます。  
・ヘッドホンで音声を聞くことができます。

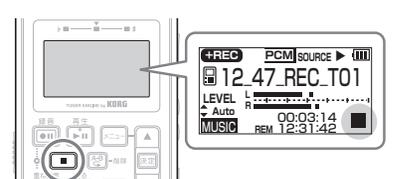


### 6 もう一度、重ね録音●IIボタンを押す

再生中の曲の頭から、重ね録音が始まります。録音する演奏を始めてください。



### 7 ■ボタンを押して録音を終了する



・■ボタンを押さなくても、再生曲の終わりで録音は自動的に終了します。

・再生曲はくり返し再生されます。もう一度、同じ曲に重ね録音をするときは、重ね録音●IIボタンを押します。

♪うまく録音できたでしょうか?  
→再生▶▶ボタンを押して、録音した曲を聞いてみましょう

### 🔑 使いかたのヒント

・1つの曲に、ギターやボーカルなどを、くり返し重ねて録音することもできます。その場合は、最大10回まで重ねることができます。



・次の機能と組み合わせて使うと、お好みに調節した曲にも録音を重ねられるので便利です。  
- キーコントロール(→83)  
- パートキャンセル(→85)  
- WAV変換コピー(→102)  
( )内の数字は、取扱説明書の説明ページです。

## くり返し練習する(聴き比べレッスン)

87

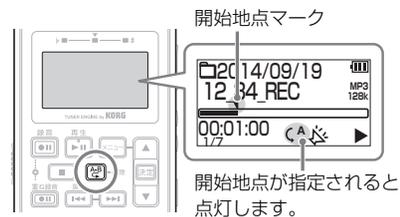
お手本と練習の演奏を交互に再生して聴き比べながら、同じフレーズをくり返し練習できます。  
・5分までのフレーズを練習できます。

### 練習するフレーズを決める

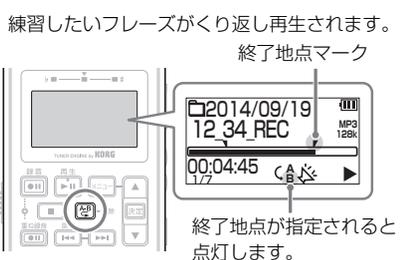
#### 1 お手本の曲を再生する

・メニューの「録音リスト」または「音楽リスト」を選ぶと、リストから曲を探すことができます。

#### 2 練習するフレーズの始まりでA-B◀/削除ボタンを押す



#### 3 フレーズの終わりでA-B◀/削除ボタンを押す



### お手本を聴く

#### 4 録音●IIボタンを押す

聴き比べレッスンが始まり、指定したフレーズ(お手本)が再生されます。  
・お手本再生は、再生▶▶ボタンを押して一時停止することができます。



再生が終わると「ピッ」と音が鳴り、録音ランプが点灯に変わります。

### 練習を録音する

#### 5 録音経過表示が動きだしたのを確認して、演奏を始める



・練習録音は、お手本の演奏時間よりも、約10%長く録音できます。時間になると「ピッ」と音が鳴り、録音が自動的に終了します。

お手本と録音した練習が交互に再生されます。聴き比べてみましょう。

### くり返し練習する

お手本と練習の再生を切り換える

▶▶ボタンを押します。

同じフレーズをくり返し練習する

手順4と5をくり返します。  
・何度でもくり返せます。(前回の録音は、自動的に消去されます。)

### 聴き比べレッスンを終了する

メニューボタンまたはA-B◀/削除ボタンを押す

聴き比べレッスンが終了します。(練習録音は、自動的に消去されます。)

・メニューボタンを押したときは、メニューが表示されます。  
・A-B◀/削除ボタンを押したときは、再生画面に戻ります。

### 🔑 使いかたのヒント

・手順2と3でフレーズの指定を間違えたときは、もう一度A-B◀/削除ボタンを押して開始地点と終了地点を取り消してから、指定し直します。